

北陸作物・育種学会 第56回講演会・シンポジウム

日程 令和元年7月19日(金)午後1時～7月20日(土)午後3時半

場所 福井市 A O S S A (アオッサ) (JR福井駅東口から徒歩3分)

7月19日(金)

13:00～15:00 公開講演会 会場：6階 研修室601B、601C

テーマ：外来雑草が農地で悪者にならないために、私たちにできること。

司会：福井県立大学 生物資源学部 准教授 水口 亜樹 氏

基調講演 京都大学農学研究科雑草学研究室准教授 下野 嘉子 氏

事例報告 福井県内事例2件

パネルディスカッション (総合討論)

(13:00～15:00 幹事会 会場：6階 研修室601A)

15:30～16:00 総会 会場：6階 研修室601B、601C

16:00～17:30 令和元年度 北陸作物・育種学会賞授賞式・講演

会場：6階研修室601B、601C

18:00～ 懇親会 会場：A O S S A 3F 炭火ステーキ キッチン&バル

7月20日(土)

9:00～12:00 頃 一般講演 会場：6階 研修室601A、601B、601C

13:00～15:30 シンポジウム 会場：6階 研修室601B、601C

テーマ：地域伝統作物や新品種の価値や権利をどのように守るのか

—農業知的財産保護戦略の制度と事例—

農林水産分野における多様な知的財産の役割と課題

農林水産省 食料産業局 知的財産課長 尾崎 道 氏

事例報告 鯖江市産業環境部 農林政策課 主事 葛野 泰央 氏

新潟県農林水産部農業総務課政策室政策企画員 皆川 律子 氏

総合討論

北陸作物・育種学会 公開講演会

テーマ 外来雑草が農地で悪者にならないために、私たちにできること。

趣旨概要 外国からやってきた植物（外来植物）が皆、悪いことをするわけではありません。外来植物はどうやって海を渡るのか？その後、どのようにして拡がり、農地で雑草化して私たちに被害をもたらすのか？ それを知ることで私たちにできることが見えてくるかも！？ 一緒に考えましょう。

プログラム

- 1 挨拶 現地大会委員長 福井県立大学 教授 教授 吉岡 俊人 氏 13:00～13:05
- 2 趣旨説明 司会 福井県立大学 准教授 水口 亜樹 氏 13:05～13:10
本公開講演会の目的等趣旨を簡単に説明
- 3 基調講演（30分） 13:10～13:40
講師 京都大学農学研究科 雑草学研究室 准教授 下野 嘉子 氏
「輸入穀物とともに持ち込まれる外来雑草」
(休憩 13:40～13:50)
- 4 事例報告（30分、各15分） 13:50～14:20
 - 4-1 報告1 報告者 福井県自然保護センター 佐野 沙樹 氏
「福井県の自然環境部局による外来植物対策取組み事例」
 - 4-2 報告2 報告者 福井県農業試験場 福井米研究部 田野井 真 氏
「福井県福井農林総合事務所管内での帰化アサガオの現状と対策」(休憩 14:20～14:30)
- 5 パネルディスカッション（総合討論、30分） 14:30～15:00
司会 水口 亜樹 氏
パネリスト 下野 嘉子 氏
佐野 沙樹 氏
田野井 真 氏
小林 英範 氏（JA福井市営農指導部長）
徳堂 裕康 氏（福井県丹南農林総合事務所農業経営支援部長、
地元福井県坂井市での防除対策実践者）

北陸作物・育種学会 シンポジウム

テーマ：地域伝統作物や新品種の価値や権利をどのように守るのか

— 農業知的財産保護戦略の制度と事例 —

概要：各地で受け継がれてきた伝統作物や創意工夫で育成された新品種は農業が営まれてきた中で生み出された知的財産であり、地域の維持発展に欠かせない大切な生物資源です。

本シンポジウムでは農林水産分野の知的財産保護に関する制度や課題について理解を深めたいと思います。また、地理的表示(G I)制度や種苗登録制度を利用した取組事例を紹介します。そして、現場の生産者や技術者が農業知的財産に関してどのように取り組むべきかを考えます。

プログラム

1 趣旨説明 (10分) 13:00～13:10

本シンポジウムのねらい等について、ファシリテーターが簡単に説明

ファシリテーター 福井県立大学 生物資源学部 教授 吉岡 俊人 氏

2 農林水産分野における多様な知的財産の役割と課題 (60分) 13:10～14:10

パネリスト 農林水産省 食料産業局 知的財産課長 尾崎 道 氏

(休憩 10分) 14:10～14:20

3 地域事例の紹介

3-1 鯖江市の伝統野菜「吉川ナス」の歴史 (20分) 14:20～14:40

パネリスト 鯖江市 産業環境部 農林政策課 主事 葛野 泰央 氏

3-2 新品種保護に係る地域事例 新潟県 「新之助」の取組 (20分) 14:40～15:00

パネリスト 新潟県 農林水産部 農業総務課 政策室 政策企画員 皆川 律子 氏

4. 総合討論 (30分) 15:00～15:30

A会場 (601A)

予定時刻	講演番号	テーマ	座長
9:00	1	<p>水稻新品種「てんたかく81」の育成 山口琢也1・表野元保2・伊山幸秀3・村岡裕一1・木谷吉則4・尾崎秀宣1・藤田健司5・池田博一4・村田和優1・森川真紀子6・宝田研7・向野尚幸7・前田寛明8・蛭谷武志1 (1.富山県農林水産総合技術センター, 2.県農業技術課, 3.高岡農林振興センター, 4.砺波農林振興センター, 5.県農産食品課, 6.県農林水産企画課, 富山農林振興センター, 8.農林水産省)</p>	小林麻子
9:15	2	<p>水稻極早生新品種「葉月みのり」の育成 重山博信1)・橋本憲明1)・松井崇晃1)・板谷越重人1)・石橋俊明1)・小林和幸1)・阿部聖一2)・石崎和彦3)・平尾賢一4)・金田智5)・名畑越夫6)・神戸崇7)・奈良悦子6)・星豊一8) 1)新潟県農業総合研究所作物研究センター 2)新潟県農業総合研究所 3)新潟県農林水産部経営普及課 4)新潟県農業総合研究所畜産研究センター 5)新潟県農業大学校 6)新潟地域振興局 7)長岡地域振興局 8)元新潟県農業総合研究所</p>	福井県農業試験場
9:30	3	<p>水稻新品種「にじのきらめき」について 長岡一朗1)・笹原英樹2)・松下景3)・前田英郎3)・重宗明子2)・山口誠之3)・後藤明俊3)・三浦清之4) 1)農研機構中央研・2)農研機構西農研・3)農研機構作物研・4)元農研機構</p>	
(休憩) 10分			
9:55	4	<p>可変施肥機の減肥効果とイネ生育収量への影響 井上健一*1)・小寺辰夫2)・中村真也3) (1)元福井農試・2)元中セキ北陸・3)福井県庁)</p>	永島秀樹
10:10	5	<p>携帯型 NDVI 測定機を用いた幼穂形成期の水稻生育診断 金森大智, 板谷恭兵, 吉野真弘, 鍋島学 (富山県農林水産総合技術センター)</p>	石川県農業総合研究センター
10:25	6	<p>不耕起V溝直播栽培における水稻「てんこもり」の高品質安定生産のための目標収数 南山恵*1)・野村幹雄2) 1)富山県農林水産総合技術センター・2)富山県農業技術課)</p>	
(休憩) 25分			
11:05	7	<p>山田錦の北陸地域での安定栽培を目指した突然変異育種 三浦孝太郎1、山口航平1、茶谷弦輝1、高城啓一2 1. 福井県立大学生物資源学部、2.若狭湾エネルギー研究センター</p>	梶亮太
11:20	8	<p>高標高地域で生産された「山恵錦」の品質加工・麴製造適性 細井淳*1)・豊田敦至2)・水野正浩3)・岩下和裕4)・岩野君夫5) (1)長野農試,2)長野工技セ,3)信州大工学部,4)酒類総合研,5)元秋田県立大)</p>	中央農業研究センター 北陸研究拠点
11:35	9	<p>コシヒカリの移植時期と生育・品質・収量 - 福井農試気象対策試験10年間の成績から - 土田政憲 (福井農試)・笈田豊彦 (元福井農試)</p>	

B会場 (601B)

予定時刻	講演番号	テーマ	座長
9:00	10	小麦の収量を高める越冬前分施肥体系 藤田与一*・樋口泰浩・川上修・南雲芳文 (新潟農総研作物研究センター)	村井耕二
9:15	11	長野県における小麦「シラネコムギ」の幼穂長による出穂期予測 井ノ口明義*1)・田淵秀樹2)・丸山翔太2)・平出有道3)・土屋学4) (1)長野県農政部農業技術課, 2)長野県農業試験場, 3)上伊那農業改良普及センター, 4)松本農業改良普及センター)	福井県立大学
9:30	12	準高冷地において選抜・育成した極早生ライムギの特性 畑 亮太郎*1, 野田 泰良1, 太田 岳士1, 樋川 瑠美1, 平嶋 千尋1, 鈴木 香奈子2, 春日 重光1 (1信州大学農学部 栽培学研究室, 2信州大学農学部 高冷地生物生産管理学研究室)	
(休憩) 10分			
9:55	13	大麦のSSIIIa変異およびもち性変異がβ-グルカン含量に与える影響 青木秀之*・関昌子・中田克・長嶺敬 (中央農業研究センター・作物開発研究領域)	細井淳
10:10	14	後期重点追肥が大麦品種「はねうまもち」の収量, 品質に及ぼす影響 島崎由美・関昌子 農研機構 中央農業研究センター	長野県農業試験場
10:25	15	はねうまもちの収量および子実 β-グルカン含量の高位安定化に関する研究 1) 後期重点型肥培管理の影響 福井県農業試験場 高橋正樹	
10:40	16	もち性皮麦「ホワイトファイバー」の止葉展開期追肥量が生育、品質に及ぼす影響について 上原 泰*・奥出聡美・丸山翔太・青木政晴・酒井長雄 (長野県農業試験場)	
(休憩) 10分			
11:05	17	密播苗育苗における播種後苗箱の貯蔵技術 (第3報) ～無被覆による苗箱貯蔵について～ 齋藤祐幸 ((株)クボタ 元新潟農総研)	藤田与一
11:20	18	農業用ドローンによる新たな湛水直播栽培技術の確立 (第1報) ドローン用播種ユニット (試作機) による播種が苗立ちに与える影響 宇野史生1)・永島秀樹1)※・ソントンシラ2)・須藤悟2)・齋藤弘晃2)・石井光2)・鈴木健一2)・休坂健志2) (1)石川県農林総合研究センター 2)株式会社オプティム)	新潟県農業総合研究所 作物研究センター
11:35	19	農業用ドローンによる新たな湛水直播栽培技術の確立 (第2報) 種子予措・保管が種子重量や発芽率に及ぼす影響と播種衝撃の評価 宇野史生1※・ソントンシラ2 (1石川県農林総合研究センター, 2株式会社オプティム)	

C会場 (601C)

時刻	番号	講演	テーマ	座長
9:00	20	写真測量技術を利用したキャベツ個体サイズの推定 ○岸直人・渡邊修・関沼幹夫 (信州大学農学部)		塚口直史
9:15	21	ICT ブルドーザによるほ場の傾斜均平施工技術の評価 中田敏朗 1)※、永島秀樹 1)、中村徳孝 1)、竹原宣博 2)、吉田敏之 2)、中村和人 2) (1)石川県農林総合研究センター 2)コマツ栗津工場)		石川県立大学
9:30	22	湿害回避を目的とした小畦立て播種のオオムギへの応用と収量の変化 福井県農業試験場 作物グループ 高橋正樹		
		(休憩) 10分		
9:55	23	遺伝子発現マーカーによるイネの白未熟粒発生予測技術の開発 白矢 武士*1)・太田 沙由理 1)・三ツ井 敏明 2,3)・土田 徹 4) (1)新潟農総研, 2)新潟大院・自然科学, 3)新潟大農・応生科, 4)新潟農総研・作物研)		小島洋一朗
10:10	24	ベンタゾン抵抗性大豆系統の選抜法 中央農業研究センター 作物開発研究領域 河野雄飛		富山農林水産総合 技術センター 農 業研究所
10:25	25	高冷地におけるペニバインゲンの主茎切断処理が収量へ及ぼす影響 関沼幹夫 (信州大学農学部付属アルプス圏フィールド科学教育研究センター)		
10:40	26	長野県の砂壤土地域におけるダイズ圃場の土壌水分経過の実態 青木政晴*・上原敬義 (長野農試) ・岡本潔・丸山秀幸 (長野野花試) ・山下亨・萬田 等・阿曾和基 (長野農試)		
		(休憩) 10分		
11:05	27	ダイズ黒根腐病発病抑制微生物資材がエダマメ栽培に及ぼす影響の解析 川上修*1)・藤田与一1)・樋口泰浩1)・南雲芳文1)・黒田智久2)・佐藤孝3) 1)新潟農総研作物研究センター, 2)新潟農総研園芸研究センター, 3)秋田県立大学		井上健一
11:20	28	絶滅危惧Ⅰ類植物アゼトギリと共生する水田畦畔と用水路の管理方法 吉岡 俊人, 日下部 智香, 水口 亜樹 (福井県大・生物資源)		ふくい農林水産支 援センター
11:35	29	福井県における帰化アサガオ類の越冬後種子の死滅率 鈴木雄登・吉岡俊人・水口亜樹 (福井県立大学)		